

『桜の名所』を願って  
希望の桜植樹会



▲大漁桜、紅華、フゲンゾウ、オオシマザクラ、バイオフゲンゾウの5種類の苗木を植えました

3月21日、千年希望の丘二野倉公園で「希望の桜」植樹会が行われ、関係者約100人が参加しました。

当日は、公益財団法人日本桜の会と宮城県農業高等学校から苗木の支援を受け、同校科学部復興チーム指導の下、二の倉工業団地協議会、いわぬま森のサポーター、旧二野倉地区住民、春山建設(株)、皆で力を合わせて約1ヘクタールに桜の苗木約150本を植えました。

市では同公園内に「桜広場」を設け、将来、復興を象徴する桜の名所になることを願っています。  
数年後には桜が成長し、満開の桜を楽しむことができるスポットとなります。



第6期岩沼市高齢者福祉計画・介護保険事業計画を報告

岩沼市高齢者福祉計画検討委員会では、平成27年度～平成29年度を計画期間とする「第6期岩沼市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」が新たに策定され、3月23日、森学武会長より市長へ報告がありました。

計画は、10年後の平成37年度に団塊世代が75歳以上の高齢者に達することを受けて、高齢者の皆さんが可能な限り住み慣れた地域で、安心した生活を営むことができるように「高齢者が安心していきいきと暮らせる地域づくり」を基本理念としています。「医療」

「介護」「介護予防」「住まい」「自立した日常生活の支援」が包括的に確保される地域包括ケアシステムを構築し、自助・互助・共助・公助の考えを基本とした地域づくり、まちづくりを目指して、基本的な施策の方向性と具体的な取り組みを定めたものです。

策定に当たり、岩沼市高齢者福祉計画検討委員会と岩沼市介護保険運営協議会において、審議をし、また、パブリックコメントや市民説明会などでいただいた、市民の方々の意見を反映しています。



▲報告書を菊地市長に手渡す森学武会長(写真右)

## 株式会社キクチから備品寄贈



▲フレスコキクチ岩沼西店の羽山店長から目録が贈呈されました

3月27日、フレスコキクチを運営する株式会社キクチから市におむつ交換台とベビーキープの寄贈がありました。いただいた備品は、西公民館の多目的トイレ内に設置し、特に子育て中の利用者の方々に活用していただきます。善意のご寄付ありがとうございました。



## 新しい消防団車両を配備

～災害発生時での活躍に期待～



▲配備された車両と（前）田村善洋消防団長（写真右）

総務省消防庁から救助資機材搭載型消防団車両1台が市に無償貸与され、3月30日、市役所で「消防団車両配備式」が行われました。

配備された車両は救助資器材を積載しており、大規模災害発生時には避難広報や消火活動だけでなく、逃げ遅れた住民の救助活動にも対応できます。

車両は、岩沼分団第1部に配備され、災害発生時での活躍が期待されます。

## 玉浦西地区に新しい集会所が完成

～兵庫県からの寄付金を基に建設～



▲玉浦西地区中集会所の外観



▲あいさつをする兵庫県の久保副防災監

4月8日、玉浦西地区内に玉浦西地区中集会所が完成し、竣工式が行われました。

地区全体の中心となる中集会所は、災害時には防災拠点として活用できるよう備蓄倉庫や太陽光パネル、消防ポンプ倉庫を設置しています。総工費は約9,500万円で、兵庫県からの寄付を財源とした県の被災地域交流拠点施設整備事業補助金と国の復興交付金を充てています。

式では兵庫県の久保博章副防災監が「20年前の阪神・淡路大震災の際は高齢者や障害者を優先にまちづくりを進めた結果、コミュニティの面であまりうまくいかなかったという反省があり、岩沼市はその教訓が生きていると思う。今後も被災の経験を生かし、後世に伝えたい」とあいさつしました。住民を代表して中川勝義玉浦西まちづくり住民協議会会長がお礼の言葉を述べました。